

12月2日

## 日本聖公会初代主教ウィリアムズ

Channing Moore Williams

(1829.7.18~1910.12.2)

～道を伝えて己を伝えず～

アメリカ聖公会の宣教師で、日本聖公会の初代主教であるウィリアムズは、ヴァージニア州のリッチモンドで生まれ、ヴァージニア神学校を卒業しました。その後 1855 年にアメリカ聖公会内外宣教会派遣の宣教師となり、志願して中国へと赴きます。

そして 1859 年 7 月に、ローマ・カトリック以外の教会による日本最初の宣教師の一人として、長崎に上陸します。当時の日本はまだキリスト教は禁教でしたが、ウィリアムズは、やがて来る宣教の日に備えて、日本語を習得したそうです。

1865 年に中国と日本の伝道主教に推薦され、1869 年、ウィリアムズは中国から大坂へ渡り活動の拠点を日本に移します。日本ではキリスト教教育に尽力し、英学塾（のちの聖テモテ学校、その後立教と合併）や照暗女学校（現：平安女学院）を創設します。さらに 1873 年、東京へ行き江戸専任主教となった彼は、1877 年に立教女学校（立教女学院の前身）をつくりました。

1887 年 2 月、ついに日本聖公会は組織として成立しましたが、初代主教に選ばれたのはウィリアムズでした。しかし彼はその二年後に主教を辞し、一人の牧師として関西地方で伝道に従事してい



ました。

「道を伝えて己を伝えず」は彼の生涯をあらわす言葉として有名ですが、彼は自分のことを知られることをとても嫌い、日本から帰国する際には持っていた資料をことごとく燃やしたといひます。

また彼の生活は「清貧」そのもので、あるとき彼が神戸から船で横浜に向かうとき、あまりのみすぼらしい格好に気の毒になった船長が「上着を裏返して着ると新しく見えますよ」と言ったところ、彼は「すでに裏返して着ています。もうそれも古くなったんです」と答えたといひます。また、汽車で移動をいていた時、信徒が駅に彼を迎えに行きました。すると彼は二等車からではなく、三等車からおりてきたそうです。そこでどうして二等を使わずに三等を使ったのかと尋ねると、「四等がなかったからだ」と言ったそうです。

<特禱>

**全能の神、天の父よ、あなたはウィリアムズ主教を導き、わたしたちの国にも聖公会の礎を据え、福音の光を輝かされました。どうか今、師父を記念し感謝するわたしたちに恵みを与え、わたしたちがその模範にならい、自らを伝えず、福音のみを伝えることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。**

アーメン